

令和4年9月22日

西部農林水産振興センター益田農業部

標 題 守ろう産地！西いわみぶどう部会で取り組む《美味しまね団体認証》

(ダイジェスト)

管内初の団体での美味しまねゴールド取得を目指して、JAしまね西いわみぶどう部会青年部が取り組みを開始しました。今後はR5年3月審査会での認証取得に向けて、引き続き支援を行っていくこととしています。

県内有数のぶどう産地を担う JA しまね西いわみぶどう部会は、近年、U・I ターンを含めた就農希望者の受け入れや、部会員個々の技術レベルの向上を図るなど、産地の発展に努めています。当農業部では、こうした部会の活動を加速化させ、産地全体でより良い農業を実践していくことを目的に、今年度から GAP への取り組みを進めています。

部会へ GAP を進めるにあたり、まずは美味しまね団体認証を効果的に活用している事例を学ぶ目的で、大田市への視察研修を実施しました。研修にあたっては、事前に団体認証を取得している生産者へインタビューを行い、メッセージビデオを作成するなどの工夫をしました。実際に GAP に取り組んでいる生産者からの「美味しまね団体認証を取得したことで、部会員同士に一体感が生まれた」といった声に背中を押されたようで、視察後には、部会長をはじめ複数の生産者から「前向きに GAP に取り組みたい」との声が聞かれるようになりました。

次に、部会役員や JA 担当者との協議を重ね、①今年度中に団体認証を取得する、②部会青年部として取り組む、③生産者が主体的・継続的に取り組めるよう支援することを明確化しました。

その後、全青年部員との意見交換も重ね、8月19日の青年部会議にて、正式に取り組みを進めていく意向を固めました。

現在は、来る1月の現地審査に向けて青年部全員で取り組みを進めています。当農業部としては“少人数チーム制”による勉強会の開催や、作業記録を簡便化するスマホアプリ“あい作”の活用マニュアル作成などを通して、生産者が主体的・継続的に GAP に取り組めるよう支援し、益田管内初の美味しまねゴールド団体認証取得を目指します。



6/3 大田市視察の様子
ほ場見学の後、農林大学校で
ビデオを視聴した



8/19 青年部会議の様子
活発な意見交換の結果
全員の合意を得た



あい作活用マニュアル
表紙は青年部全員で取り組みの
決意を表した集合写真